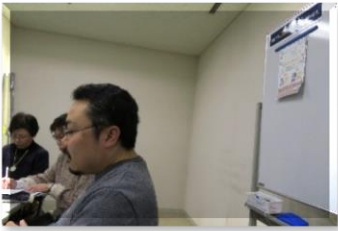


第46号
(2月)
2017年
2月1日

七里ヶ丘こども若者支援研究所

それが社会参加だ！

住所:鎌倉市七里ヶ浜 2-31-12
連絡先:090-7212-4055
Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp
編集長:新舛秀浩
発行責任者:滝田衛



自然と触れ合い、自分が変化

ひきこもり経験者の涌井貴暁さん(左写真)による講演会、第3回「ひきこもることの安心と不安、自分らしさの理解について」開催、来場者22名の皆様感謝致します。講演会を振り返ってみます。

涌井さんは「生きている資格がない。死ぬべき」そして殺される妄想で外出困難になり、家にひきこもるようになった。この妄想は、「外出時に他者から攻撃されるのではないか」の恐怖となり、外出しバス停までたどり着くものの偶然先頭に並ぶが「自分のような者が先頭に立つ資格はない」と言われ後ろの人に突き飛ばされる妄想に襲われる。そんな苦しい日々、酒を飲み逃避をせざるを得ない状況になる。寝ても夢でうなされ、疲労感にさいなまれ心休まる時はなかった。さらに、親からは働かないことは甘えだと言われ、働きたいけど働けない状況に更に追い込まれる。そんな苦しさから解放されたのが自然との出会い。ひきこもる前からの趣味、バイクでツーリングを通して自然にふれあい徐々に回復し自己肯定感が上がっていった。

今こうして講演会をやっている自分がとても“自分らしい”と語った。ひきこもり経験で苦しかったとき「兄のような第三者がいたらどれほど救われたのだろう」との強い思いを抱き、外に出ることが難しいひきこもり当事者と寄り添う支援事業「マジェスティック」を立ち上げたと言ってくれました。ひきこもり経験を活かしこれから活動されるということでした。最終回2月26日(日)pm2に行います。

個人的な話になるが、以前、体調不良の僕を心配して涌井さんが自宅に来てくれたのに「迷惑だ！」と言ってしまった。それでも涌井さんは今でも何か悩み事があれば笑顔で我が家に来てくれる。そんな涌井さん、難しいひきこもり支援でも必ず成功すると僕は確信している。(新舛秀浩)

<http://www.geocities.jp/chickennandayo/> マジェスティックHP

コラム風

1月28日(土)午後小田原市相談指導教室(鴨宮駅)

主催の不登校講演会“進路を拓く～自分らしい生き方を求めて～”で話した。僕は「ここは未来を語る場、不登校は挑戦者(チャレンジャー)」と語り知られていない文科省見解を紹介(概要)。「学校に休養



鴨宮駅新幹線発祥地

登校するという結果のみを目標にするのではなく自らの進路を主体的に捉え、(不登校は)や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つ。社会的に自立することを目指す必要があり、児童生徒の才能や能力に応じ可能性を伸ばせるよう連携支援を(2016/9/14通知)、「不登校を“問題行動”と判断してはならない、悪いという根強い偏見を払拭(2015年協力者会議中間報告)」。

その後、不登校の背景と理解そして未来を解説しました。後半は経験者との対談。18歳男性「通信制高校で学びながらバイトとPCハード改造、心境を執筆中」、21歳女性「高校進学し調理師そして洋菓子専門学校で学びパティシエ就活中」と挑戦する今を語りました。母親は「不登校中は言い争い。今は漫才のような日々」「親思いの優しい子、自分の店を持ちたいと初めて知りました」と笑顔でした。参加者約50人と交流、CLCA代表の和田重宏(教育委員長)さんとも懇談しました。(滝田衛)

1月15日応援団会議 いじめ不登校解決市民サミット実行委員会スタート!

涌井さんの講演後、会場を移して応援団会議を始めました。12名のご参加感謝です！会議は近況報告からスタート、皆様の活動を紹介します。涌井さんは初めて事務職の仕事に取り組むと意欲を燃やし、高島さんはいじめの捉え方に生徒と教師の見方に乖離が問題であると。初参加の村松さんは涌井さんの講演が素晴らしいと、島根さんは違いを認める難しさを、橋本さんは学びあう親子関係を、川辺順子さんは息子と自分は別人格だと再認識と。安川さんは塾講師として全ての生徒に同じカリキュラムを提供することに疑問を感じ、小幡さんは在宅看取りについて、病になった現実とやりたいことの理想のギャップがあることは素晴らしく、目標を見失う事こそが最も苦しい状況だと。川辺悟史さんは3度目の初日の出写真(左)成功と学業へさらなる意欲を、龍崎さんは中学生の教材を学生自らが選択し勉強の意欲を高めるプロジェクトと5回目の「大人のための文化祭」を紹介。新舛は、逗子市賀詞交歓会へ行き交流を深めました。その後滝田さんから「いじめ不登校解決市民サミット」へ向け実行委員会を立ち上げ提案、議論を経て皆で確認。安川有里さんが委員長候補になり2月12日に第1回実行委員会をスタートします。また4月から応援団会議は交流型から発信型へ刷新します。実行委員会、応援団会議、皆様ご参加ぜひお待ちしております。(新舛秀浩)



それぞれの風 医師の岩室紳也さん(会員)より、いじめ・不登校解決市民サミット

(案)へのご助言をいただきました。感謝申し上げます一部紹介いたします。心してサミットに臨みます。

『今のネット問題の対策も大人たちがきれいごとを並べているだけで、実際に子どもたちの役に立たない視点ばかりだと思っています。私は個人的には条例化や解決協議会が重要、そのことの実践が得られる「予防講演会」を開催していければと考えています。一方で加害者ケアプログラム実施には賛成ですが、「加害者がいるからいじめがなくなる」という世間の他人ごと意識を高めることになり、むしろ逆効果かと思っています。大人自身が「毅然とした態度で立ち向かう」方が現実的ではないでしょうか。きれいごとを並べると、ますます正解探しの社会を助長させてしまうように思っています。素晴らしい取り組み故にコメントさせていただきました。』 **紳也's ホームページ** <http://iwamuro.jp/>



サミット実行委員会結成

どなたでもご参加ください!

日時: 2月12日(日)午後6時

場所: 横須賀市民活動センター

※のたろんフェア終了後に

サミット準備経過報告1月6日(金)三浦市長吉田英男さま、20日(水)逗子市長平井竜一さま、21日(土)加藤彰彦さま(沖縄大学名誉教授)に、それぞれ小幡・新舛・涌井さん同行で面会できサミット趣旨理解を頂きました。横須賀市ベイサイドポケットに会場手続き完了です。(滝田衛)

【ご参加ください】
応援団会議・作業は横須賀・市民サポートセンターで行います。
誰でも参加できます。途中参加・中座歓迎です。

2月研究所開設日程 相談時間10時~16時 土日訪問はご相談

9(木)	am フリーラウンジ、相談	19(日)	pm2 応援団会議
10(金)	他事業		Pm4 龍崎プロジェクトプレゼン
12(日)	横須賀市市制110年	21(火)	他事業
	Pm6 サミット実行委結成	23(木)	am フリーラウンジ、相談
14(火)	他事業	26(日)	Pm2 涌井ひきこもり講演会④
16(木)	相談	28(火)	他事業
18(土)	手広地区講演会	27(月)	相談